

化学 i コンピテンシールーブリック

自分に最もよくあてはまるものを、1～4のうちから1つ選んでください。

		1 コンピテンシー	1 不十分である	2 やや不十分である	3 おおむね身につけている	4 十分身につけている
I 情報分析活用力	I-3 11	計算問題を解く際に、情報を組み合わせて課題解決に活かすことができる。	課題解決に必要な情報を組み合わせることが難しい	与えられた情報であれば組み合わせることができる	どのような情報が必要かを考えながら、自分で情報を組み合わせることができる	課題解決に必要な情報を複数収集し、どのように組み合わせれば課題解決に繋がるかを考えながら、情報を活用することができる
	I-5 21	実験結果をコンピュータを使ってグラフで表すことができる。	コンピュータを活用してグラフを作成することが難しい	コンピュータを活用して何とかグラフの概形を作成することができる	グラフには単位や数値が必要であることを理解しており、グラフ内に単位や数値をきちんと表示することができる	軸の目盛りの取り方を工夫するなど、どのようなグラフであれば集めた情報を適切に数量的に表すことができるか判断することができる
II 論理的思考力	II-4 17	定義の説明を「言い換える」ことで、筋道を立てて自分の考えを組み立て結論を導くことができる。	筋道を立てて自分の考えを組み立てることができない。	自分の考えを筋道を立てて組み立てようとするが、説明することが難しい。	自分の考えを筋道を立てて説明できる。	「言い換える」ことで、筋道を立てて自分の考えを組み立て、その定義を説明できる
	II-5 22	「結論」から「理由」そして「具体例」という順序で話すことができる。	人に説明するとき、結論を述べることはできるが、その理由や具体例まで話すことはできない	人に説明するとき、結論とその理由を述べることはできるが、その具体例まで話すことはできない	人に説明するとき、「結論」から「理由」そして「具体例」という順序で話すことができる	人に説明するとき、「結論」から「理由」そして「具体例」という順序で話し、相手を納得させることができる
III コミュニケーション力	III-2 8	自分と他人の考えを比較し、共通点と相違点を発見し、話し合うことができる。	話し合いに参加することができない。	話し合いに参加しているが、自身の考えと他人の考えを比較して、共通点と相違点を発見することができない。	話し合いに参加し、自身の考えと他人の考えを比較して、共通点と相違点を発見することができる。	話し合いに参加し、自身の考えと他人の考えを比較して、共通点と相違点を発見し、それを他人にわかりやすく伝えることができる。
	III-4 18	伝えたい内容を正確に相手に伝えることができる。	説明をすることができない。	口頭のみ説明しているが、相手に十分に伝わっていない。	口頭の説明だけではなく、模式図などを用いて説明することができる。	模式図などを用いて説明し、もし相手が理解できない場合は、どこが理解できないのかを見極めながら説明することができる。
IV 自律的に行動する力	IV-2 9	定期考査の勉強で、目標を達成するために、計画を立てて行動しようとする事ができる。	目標を立てることができず、行き当たりばったりの行動をとることが多い	目標を立てることはできるが、それを達成するための計画を立てて行動することができない	目標を立て、それを達成するための計画を立てて行動することができる	目標を達成するために計画を立てて行動し、うまくいかない場合には、その計画を修正しながら行動することができる
V 根拠を感える力	V-4 20	予想を立てる場面で、互いの発言を促し、他人の意見でいいところを評価することができる。	話し合いに参加できない。	自分の意見を発言することはできるが、他人の発言を聞かない。	自分の意見も発言し、他人の発言にも耳を傾けることができる。	自分の意見を発言し、他人の発言にも耳を傾け、よいところを評価することができる。
	V-5 25	理由を説明する場面で、自分の意見を表現し、かつ相手の意見を受容し、よりよい理由を導き出すことができる。	自分の意見を伝えることができない。	自分の意見を伝えることはできるが、他人の意見を受容することができない。	自分の意見を伝えるだけでなく、他人の意見も受容することができる。	自分の考えと他人の考えを比較して、自他の考えをよりよい考えに変換することができる。